



**ご遺族など
約1000人が参列
戦没者追悼式**

訓子府町戦没者追悼式が7月15日、忠魂碑前で行われました。ご遺族や関係者約1000人が参列し、戦没者に対して黙とうを行ったあと、参列者一人ひとりが献花し、戦没者の英霊を追悼しました。訓子府町の戦没者は、ご遺族の所在が不明な方も含めて224人となっています。

町内に自生する大麻の抜き取り作業が7月14日行われ、約6万4,000本を抜き取りました。

ライオンズクラブをはじめ、訓子府消防団、防犯協会、仁木薬局、訓子府駐在所、北見保健所、町合わせて約40人が参加しました。

参加者は、人の背丈より伸びている野生大麻を1本1本抜き取り、撲滅に向けて汗を流していました。



野生大麻根絶へ抜き取り作業

訓子府町で管内社会福祉大会開催



第53回網走支庁管内社会福祉大会が7月24日に訓子府町公民館で、管内各地から福祉関係者約550人が参加し開かれました。午前中の式典では、49人1団体が網走支庁長表彰などを受けました。

午後からは、書家・相田みつをさんのご息で東京の「相田みつを美術館」館長、相田一人さんの講演が行われたほか、訓子府町福祉友の会の土屋喜久夫会長が、友の会活動などの実践報告を行いました。

連合消防演習 きびきびした動きで訓練



8年ぶりに訓子府で実施

北海道消防協会網走地方支部北見分会の第59回連合消防演習が6月29日、訓子府小学校グラウンドで開かれました。消防精神の高揚と技術の練磨などを目的に同分会1市4町持ち回りで開催、訓子府開催は8年ぶり。

8消防団から車両19台、約270人が出動しました。開会式では、8本の水で虹をイメージした歓迎カラー放水が行われたあと、小隊訓練、消防ポンプ自動車操作や模擬火災訓練などが実施されました。

訓子府消防団からも73人が参加し、各訓練をきびきびとした動きでこなしていました。

まちのわだい

町の発展につながる新しい事業・取り組みを支援する「元気なまちづくり総合補助金」の事業採択について、申請のあった二つの提案事業が選考審査会（委員長・道立北見農試 玉木哲夫場長）での審査を経て、対象事業に決定されました。

6月24日に町長から直接、各代表者に決定通知書を手渡しました。

採択事業は下表のとおりです。



対象事業が決定しました

元気なまちづくり
総合補助金

事業名	申請団体（代表者）	事業内容
飼料調整・配送外部委託による地域活性化事業	合同会社K'sフィードサービス（業務執行代表社員 稲辺文男）	6戸の酪農家共同による集中飼料生産および配送事業（TMR）
「ひとり家族」への「安心・安全・安価」食品提供事業	ビストロKUNNEPPU商品開発研究会（谷口武彦）	クリーンな農産物を生かした加工品の商品化に向けた研究事業

図書館から 新しい本が入りました

カッチョマンがやってきた！

ミニ・グレイ／絵・作

絵本

最新型
アクション・フィギュア「カッチョマン」は世界の平和を守る、おたすけヒーロー！あいぼうはたよれるタワシ犬タワッシーだ。



ローカルプレミアムを見つけよう！

玉井 憲夫／著

一般書

ローカルプレミアム、それは「土地のよさ」です。歴史、自然、産業、アートそして人。まちが人が元気になる、美しくなる。それがローカルプレミアム。



傷だらけの天使

矢作 俊彦／著

小説

伝説再び！TVドラマ「傷だらけの天使」が復活。最終回から約30年、ホームレスになっていた木暮修は新宿に戻るが、世界中からのお訪ね者に…。



野外ふれあいコンサート楽しむ



居武士小学校後援会を中心とした実行委員会主催の「野外ふれあいコンサート」が7月5日、日ノ出地区ふれあいセンター広場で開かれました。

学校や地域が、音楽を通して交流を深める目的で毎年開かれ、8回目。今年は、13グループが参加し、子どもからお年寄りまで楽しめる演奏が披露されました。